

皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

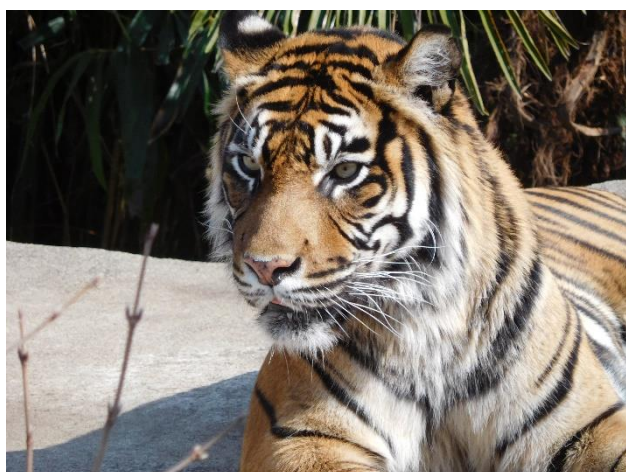
今回の質問はこちら。

ペンネーム: そう さん からの質問
トラはどんなはんしよくを
しているんですか?

ご質問、ありがとうございます。

当園で飼育しているスマトラトラは過去に何度か繁殖をしていますが、赤ちゃんが生まれる前の取り組みは皆さんの目に触れることはあまりありません。

今回は、トラが生まれるまでの取組みについて解説していきます。



繁殖に取り組む前に、誰と誰をペアにするか決めます。ペアを決める時には、トラの家系図を参考にしながら、血縁が近くなりすぎないようにします。必要が

あれば、他の園へ個体を移動させることもあります。思い入れのある個体が移動するのは寂しいですが、繁殖を第一に考えて計画を立てます。

ペアが決まったら、メスの発情を確認します。メスは1ヶ月程度の間隔で5日程度の発情があります。発情しているメスは、仰向けになってゴロンとしたり、よく鳴いたりします。そのタイミングでオスと同居し、繁殖行動が見られれば妊娠の可能性があります。普段、トラは1頭で過ごす動物なので、発情期以外で同居をするとケンカになる可能性があります。オスとメスを同居する時は、飼育員もとても緊張します。



繁殖行動が見られた後、メスの発情が確認できなければ妊娠したと判断し、出産に向けた準備をします。トラの妊娠期間は約100日です。様子を観察し、出産が近くなってきたら、床材を多めに準備して見守ります。子どもは2〜3頭生まれることが多いです。生まれたばかりの子どもは小さく、目も開いていません。子どもが小さいうちは、飼育員は離れたところでカメラ越しに親子の様子を観察しながら成長を見守ります。

赤ちゃんがお披露目されるまでの裏側の取組みをご紹介します。希少動物の繁殖を目指す、動物園の取組みにも興味を持っていただけると嬉しいです。